



# 2025 祝 卒業



## 父 母 会 会 報

### 麻布大学

令和7年4月 発行

#### もくじ

- 02 父母会行事報告  
各行事出席者及び組数  
定期総会
- 03 地区懇談会  
教員との個別面談
- 04 卒業生から…  
卒業  
〈令和6年度卒業アルバム委員会委員長〉松下 周平  
感謝の気持ちを胸に  
〈令和6年度獣医学科謝恩会実行委員長〉篠崎 来希  
これまでとこれから  
〈令和6年度動物応用科学科謝恩会実行委員長〉須藤 裕弓  
学びと成長  
〈令和6年度臨床検査技術学科謝恩会実行委員長〉沼田 璃輝  
挑戦と成長  
〈令和6年度食品生命科学科謝恩会実行委員長〉山吉 勲宙  
4年間の経験を経て  
〈令和6年度環境科学科謝恩会実行委員長〉河村 隆徳
- 06 令和6年度定年退職者  
令和6年度麻布大学学生表彰  
(越智賞、日本獣医師会優等卒業生、日臨技学生表彰、  
日本畜産学会優秀学生賞、学業成績優秀者、古泉賞)
- 07 令和7年度クラス担任  
令和7年度麻布大学行事予定
- 08 令和7年度父母会行事予定(案)  
編集後記・連絡事項

## 定期総会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
6月8日(土)	全国	麻布大学	大教室	202人(150組)

## 地区懇談会

開催日	対象地区	開催地	会場名	出席数
9月1日(日)	中部・近畿・中国・四国・九州地区	愛知県	名鉄グランドホテル	台風10号の影響により開催中止
9月7日(土)	北海道・東北・関東地区 (東京・神奈川を除く)	栃木県	ホテルマイステイズ宇都宮	40人(26組)
合 計				40人(26組)

## 教員との個別面談

開催日	対象地区	開催地	面談対象	出席数
10月26日(土)	東京都・神奈川県	麻布大学	全学科の1・2年生の御父母を対象	195人(141組)



## 令和6年度 麻布大学父母会定期総会開催

開催日時 令和6年6月8日(土)

10:00～11:30 研究室訪問(受付 8号館1階ロビー)

10:30～11:15 一般教養セミナー(大教室)

演題「麻布大学における教務・学生支援の取組みおよび特色ある教育プログラムについて」

講師 伊藤 潤哉 先生

(獣医学部 動物応用科学科 動物繁殖学研究室 教授)

11:30～12:40 定期総会(大教室)

12:45～14:45 懇親会(8号館7階 百周年記念ホール)



▲定期総会



▲懇親会



▲一般教養セミナー

今年度は、総勢150組202人の御父母が参加し、無事に定期総会を終えることができました。御来場いただいた御父母をはじめ、御協力いただきましたみなさまへ感謝申し上げます。

研究室訪問は、普段見ることのできない御子女の研究室での様子を御覧いただくと同時に、研究室の指導教員から、御子女の研究室活動等について説明を受けられました。

定期総会では、会長のあいさつ、父母会事業報告・事業計画、役員選出、大学側のあいさつ及び現況報告等がありました。

定期総会終了後、父母と教職員との懇親会が開かれ、普段なかなか接することの出来ない教員と御父母が御歓談されました。

## ■令和6年度 定期総会及び研究室訪問参加者数

定期総会	獣医学部	獣医学科	83人(61組)
	獣医学部	獣医保健看護学科	10人(8組)
	獣医学部	動物応用科学科	69人(47組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	14人(13組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	9人(8組)
	生命・環境科学部	環境科学科	17人(13組)
	合 計		202人(150組)

研究室訪問	獣医学部	獣医学科	41人(29組)
	獣医学部	獣医保健看護学科	0人(0組)
	獣医学部	動物応用科学科	42人(26組)
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8人(7組)
	生命・環境科学部	食品生命科学科	2人(2組)
	生命・環境科学部	環境科学科	6人(5組)
	合 計		99人(69組)



## 令和6年度 麻布大学父母会地区懇談会

今年度の父母会地区懇談会は、当初2会場で開催予定でしたが、台風10号の影響により名古屋会場（9月1日）での開催が中止となり、宇都宮会場（9月7日）のみの開催となりました。宇都宮会場では、御父母とクラス担任による個別面談、御父母との懇談会が行われました。

大学側からは、川上学長、植竹獣医学部長、伊藤生命・環境科学部長、平学長補佐（学生支援担当）、森田学長補佐（学生支援担当）、伊藤学長補佐（教務担当）及び柳原事務局長から、大学及び各学部の現状に関して報告がありました。また、昨年度に引き続き今年度も、櫻井照士氏（本学就職講座講師）によるキャリア・就職セミナー（演題：「就職活動の現状と社会が求める人材」～大学の支援と保護者の関わり方～）を個別面談と並行して行いました。

全体懇談会終了後には「御父母と教職員の懇親会」が行われ、クラス担任の先生方との触れ合いはもちろん、御父母同士も共通の話題を通して楽しく歓談され、名残惜しい中、盛会のうちに終了となりました。

懇親会に参加された御父母からは、「普段会えない方や先生とお話できる機会があるのはとてもありがたいと思います。とても有意義な時間でした。」「とても楽しく過ごせました。顔の見えるお付き合いが大事だと思いました。」「話しやすい場になり、保護者、先生方とよりよいコミュニケーションがとれたことに感謝いたします。」と地区懇談会の開催に対する感謝のお言葉を多数いただきました。

### 令和6年度 地区懇談会出席者

学部	学科	宇都宮会場9月7日(土) 出席者数
獣医学部	獣医学科	21人(13組)
獣医学部	獣医保健看護学科	1人(1組)
獣医学部	動物応用科学科	10人(6組)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	4人(3組)
生命・環境科学部	食品生命科学科	0人(0組)
生命・環境科学部	環境科学科	4人(3組)
合計		40人(26組)



▲個人面談



▲懇親会



▲全体懇談会

## 令和6年度 麻布大学父母会教員との個別面談

大学祭開催期間中である10月26日（土）に、麻布大学にて、東京都・神奈川県在住の各学科1・2年次学生の御父母を対象に、教員との個別面談を実施いたしました。

合計141組195人の御父母が参加され、御子女の大学における生活状況や学業成績状況等の把握と今後について、御子女が所属する学科のクラス担任と情報交換を行い、好評のうちに終了いたしました。

参加された御父母からは、「大学生にもなると、担任の先生とお話しさせていただくような機会はなかなかないと思いますので、このような機会が得られて良かったです。」「普段から疑問に思っていた事が伺えて、すっきりしました。」「学校での様子を聞いて、本人も頑張っているようで安心しました。」と教員との個別面談開催に対しての言葉もいただきました。



### 令和6年度 教員との個別面談出席者

学部	学科・学年	出席数	合計
獣医学部	獣医学科1年次	25人(15組)	47人(32組)
	獣医学科2年次	22人(17組)	
獣医学部	獣医保健看護学科1年次	8人(6組)	8人(6組)
獣医学部	動物応用科学科1年次	27人(20組)	53人(37組)
	動物応用科学科2年次	26人(17組)	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科1年次	9人(8組)	27人(21組)
	臨床検査技術学科2年次	18人(13組)	
生命・環境科学部	食品生命科学科1年次	11人(8組)	20人(15組)
	食品生命科学科2年次	9人(7組)	
生命・環境科学部	環境科学科1年次	27人(21組)	40人(30組)
	環境科学科2年次	13人(9組)	
合計			195人(141組)

## 卒業生から…



### 「卒業」

松下 周平 V19124

卒業アルバム委員会委員長  
獣医学部 獣医学科 6年次

まず、この6年間に会って下さったすべての人達に感謝いたします。大学生活は、多くの出会いや挑戦に満ちた時間でした。勉強では専門知識を深めるだけでなく、自分の考え方や視野を広げる機会を沢山得られました。

そして何と言っても、卒業アルバム委員として活動したことは、僕にとっ

での宝物となりました。写真撮影や編集作業を通じて仲間と協力し、ひとつの成果物を形にする喜びは、他では味わえない達成感があります。時には意見の違いで悩むこともありましたが、それもまた学びの一部であり、責任感や調整力を磨く経験になりました。

またコロナ禍を通じて友人と会うことや趣味に割く時間、余裕を持つ時間の大切さも実感しました。ただ一生懸命に頑張るのではなく、ゆったりとした気持ちや時間が生きる中での重要な

役割があるように感じています。

こうした大学生生活の経験は、今後の大きな糧となるでしょう。卒業後も、この6年間の学びや絆を大切に獣医師として楽しく活動していこうと思っています。



### 感謝の気持ちを胸に

篠崎 来希 V19065

獣医学科謝恩会実行委員会委員長  
獣医学部 獣医学科 6年次

友人と物思いにふけながらこの銀杏並木を歩く日々も残りわずかとなってきました。幼少期より獣医師を志してきた私は、入学後、胸の高鳴りを抑えながら最初の講義を受けたことを鮮明に覚えています。新しいことに挑戦しようとして入部したラグビー部ではかけがえのない友人ができ、アクシデントに

見舞われながらも6年間やり遂げることができました。3年次からは、入学当初より希望していた小動物外科学研究室に入室し、ここでの活動は私の人生の大きな財産となりました。生の現場で学ぶ機会を与えてくださり、疾患についてだけでなく、ひたむきに獣医療を学び続ける誠実さなど獣医師としてのあり方を学ぶことができました。『Giver』であれ、これまで多くの人に支えられてきたからこそ、先生からいただいたこの言葉は私の中で深く刻ま

れています。この言葉を胸に、これからも感謝の気持ちを忘れず、また謙虚に獣医寮に邁進していきたいと思えます。最後にこの場をお借りして、先生、友人、学校関係者の皆様、父母の皆様、そしてこれまで支えてくれた家族に心より感謝申し上げます。



### これまでとこれから

須藤 裕弓 A21103

動物応用科学科謝恩会実行委員会委員長  
獣医学部 動物応用科学科 4年次

私は、春から念願のドッグトレーナーとして働きます。高校生の時から犬・猫の保護活動に関心があり、麻布大学動物応用科学科に入ったのも、3年次に選択できる応用動物心理学実習の履修を希望していたからです。入学当初は、オンラインと対面授業を交互し、目的の実習を受講できないと心配

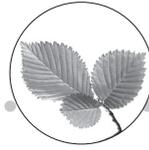
していました。この不安な状況の中でも、尊敬する先生のもとで仲間と切磋琢磨し互いに高め合うことができ、幸いにも、3年に上がると授業が完全対面に戻り、入学のきっかけでもある応用動物心理学実習を楽しむことが出来ました。

大学生活で学んだことを今後のドッグトレーニングにも生かし、犬や飼い主に寄り添ったドッグトレーナーになります。

4年間の大学生活は妥協なく学ぶこ

とができた素晴らしい期間となりました。この場をお借りして先生、学校関係者皆様、友人、そして両親、私の大学生活を支えてくださった全ての方に心より感謝申し上げます。





## 学びと成長

### 沼田 璃輝 M21098

臨床検査技術学科謝恩会実行委員会委員長  
生命・環境科学部 臨床検査技術学科 4年次

麻布大学で過ごした4年間は、多くの専門知識を学び、自らの成長を実感する貴重な時間でした。入学当初はコロナウイルスの影響で変則的な授業が中心となり、想像していたキャンパスライフや友人との交流を築けず、もどかしさを感じました。しかし、徐々に規制が緩和され、本格的な実習や授業

が始まると、学びの幅が広がり、友人たちとの絆も深まりました。共に課題に取り組む、試験前に支え合った日々は、困難を乗り越える力や協力の大切さを教えてくれた、かけがえのない経験です。

3年次の臨地実習では、臨床検査技師として患者さんの健康や治療を支える重要な役割を担っていることを理解する貴重な機会となりました。

麻布大学で過ごした4年間で培った知識と経験を、今後は医療現場で活かし、貢献していきます。

最後に、この場をお借りして、大学関係者の皆様、先生方、友人、両親をはじめ、私の大学生活を支えてくださったすべての方に心より感謝申し上げます。



## 挑戦と成長

### 山吉 勲宙 F21030

食品生命科学科謝恩会実行委員会委員長  
生命・環境科学部 食品生命科学科 4年次

振り返ってみると、私の大学生活は、多忙ながらも充実した4年間でありました。大学に入学してから、日々の学業に加え、週2回の部活動や春秋大会出場、教職課程での教育実習や授業、さらに研究室での活動と、忙しい毎日を過ごしました。その中で、部活動では部長としてリーグ優勝を果たし、教

育実習では、現場で多くの学びを得るなど、大きな達成感と充実感を味わうことができました。私はこれらの経験を通じて、やりたいことに挑戦する大切さを学ぶことができました。

私は春から大学院でさらに学びを深め、研究に励む予定であります。この決断ができたのは、麻布大学での4年間の経験とそれを支えてくださった家族や先生方、友人、そして麻布大学関係者の皆様方のおかげだと存じます。これからもこの4年間の学びを胸に、

努力を重ねていきたいと存じます。最後に、これまで関わってくださったすべての方々、そして支えてくれた家族に心より感謝申し上げます。



## 4年間の経験を経て

### 河村 隆徳 E21025

環境科学科謝恩会実行委員会委員長  
生命・環境科学部 環境科学科 4年次

私がこの4年間の大学生活で感じたことは自由度の高さです。高校まで親しくなる友達は、ほとんど自分と同じ生活リズムをおくる人が多かったです。しかし、大学では多数の選択授業があり、多くあるサークル活動を自分の意思で参加するかを決めることができました。私は、多くの活動に携わり、

多くの自分とは違う価値観の人と関わりました。関わる中で、自分の長所や短所がわかり自己認識を改めることができ、長所を伸ばし、短所を補うことができました。このような経験は、自分の進路を決めるうえで大きな影響を与え、大学院進学を決める決定打になりました。これから、大学院で専門性の高い知識を身に付け社会に役立つような人間になります。

最後にこの場をお借りして、このような経験をさせてくださいました、麻

布大学の関係者の皆様、先生方、友人、そして両親に感謝申し上げます。



# 令和6年度定年退職者

令和7年3月をもって、次の教職員の方々が退職されました。

授業及び学生生活において、学生達への御指導御鞭撻を賜りました教職員の方々が、この度定年を迎えられ退職されることは、本当に名残り惜しく思います。

これまでの様々な御功労に敬意を表し、感謝申し上げますと共に、今後の御活躍と御健勝をお祈りいたします。

今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## 教員

### 獣医学部



動物応用科学科  
動物繁殖学研究室  
柏崎 直巳 教授

### 生命・環境科学部



臨床検査技術学科  
微生物学研究室  
古畑 勝則 教授



食品生命科学科  
食品衛生学研究室  
三宅 司郎 教授



環境科学科  
環境衛生学研究室  
遠藤 治 教授

## 職員 総務部 人事課 茂木 元子

## 学生表彰

令和6年度

受賞された方におかれましては、受賞おめでとうございます。  
今後の更なる御活躍を期待しております。

### 越智賞

獣医学科	V19056	尾高 由佳	臨床検査技術学科	M21084	齊藤 奈月
動物応用科学科	A21054	柏木 もも代	食品生命科学科	F21022	大岩 佳奈
			環境科学科	E21013	岩崎 光陽

### 日本獣医師会優等卒業生

獣医学科 V19056 尾高 由佳

### 日臨技学生表彰

臨床検査技術学科 M21084 齊藤 奈月

### 日本畜産学会優秀学生賞

動物応用科学科 A21081 大村 優香

### 学業成績優秀者

#### 獣医学科

V19028	根本 理奈子
V19066	藤平 真緒
V19105	佐伯 尚広
V19113	神谷 将史

#### 動物応用科学科

A20025	東 香織
A21009	岩崎 寧音
A21026	井上 和奏
A21081	大村 優香

#### 臨床検査技術学科

M21043	土屋 夏鈴
M21056	澤入 なる実
M21074	秋葉 言実
M21099	岩崎 亜美

#### 食品生命科学科

F21001	三井 匠
F21007	江藤 輝映

#### 環境科学科

E21046	實川 貴弘
E21047	久次 優斗

### 古泉賞

獣医学科	V19106	福田 智	食品生命科学科	F21006	矢島 宙紀
動物応用科学科	A21068	藤井 奈央	環境科学科	E21004	三浦 利紀
臨床検査技術学科	M21030	福田 紗来			

2025年度クラス担任

獣医学部

年次	担当学科	氏名	研究室等
1	獣医学科	教授 善本 亮	薬理学
	獣医学科	講師 永根 大幹	生化学
	獣医学科	助教 志賀 崇徳	病理学
	獣医保健看護学科	教授 大倉 健宏	愛護・適正飼養学
	獣医保健看護学科	准教授 今井 彩子	獣医臨床看護学
	獣医保健看護学科	教授 石井 康夫	語学・人文学
	動物応用科学科	准教授 戸張 靖子	動物資源育種学
	動物応用科学科	講師 池田 裕美	動物行動管理学
	動物応用科学科	講師 西本 裕樹	生物学
2	獣医学科	教授 中村 紳一朗	実験動物学
	獣医学科	准教授 村上 裕信	伝染病学
	獣医学科	講師 梶 典幸	薬理学
	獣医保健看護学科	教授 栗林 尚志	動物基礎看護学
	獣医保健看護学科	講師 小野沢 栄里	獣医臨床看護学
	獣医保健看護学科	講師 久世 明香	獣医臨床看護学
	動物応用科学科	准教授 山本 誉士	野生動物学
	動物応用科学科	講師 大我 政敏	動物工学
	動物応用科学科	教授 勝俣 昌也	獣医学科栄養学
3	獣医学科	教授 山下 匡	生化学
	獣医学科	准教授 福山 朋季	薬理学
	獣医学科	准教授 岡本 まり子	感染免疫学
	獣医学科	講師 新井 佐知子	産業動物内科学
	動物応用科学科	教授 大木 茂	動物資源経済学
	動物応用科学科	講師 寺川 純平	比較毒性学
4	獣医学科	教授 川本 恵子	感染免疫学
	獣医学科	講師 大石 元治	解剖学第一
	獣医学科	助教 風間 啓	産業動物内科学
	動物応用科学科	教授 田中和 明	動物工学
5	動物応用科学科	教授 茂木 一孝	伴侶動物学
	獣医学科	教授 平 健介	寄生虫学
	獣医学科	准教授 野口 倫子	臨床繁殖学
6	獣医学科	准教授 相原 尚之	病理学
	獣医学科	教授 長井 誠	伝染病学
	獣医学科	講師 松井 久実	生理学第一
	獣医学科	助教 高橋 広樹	小動物臨床

生命・環境科学部

年次	担当学科	氏名	研究室等
1	臨床検査技術学科	教授 本田 晃子	血液学
	臨床検査技術学科	助教 香川 成人	微生物学
	食品生命科学科	准教授 小林 直樹	食品安全科学
	食品生命科学科	講師 鬼頭 久美子	フードシステム
	環境科学科	准教授 中野 和彦	環境分析学
	環境科学科	講師 落合 真理	環境衛生学
2	臨床検査技術学科	准教授 曾川 一幸	生化学
	臨床検査技術学科	准教授 高梨 正勝	病理学
	食品生命科学科	教授 石原 淳子	食のデータサイエンス
	食品生命科学科	講師 リンチ ジョナサン	国際コミュニケーション
	環境科学科	教授 大河内 由美子	水環境学
	環境科学科	准教授 片平 浩孝	環境生物学
3	臨床検査技術学科	教授 松下 暢子	免疫学
	臨床検査技術学科	准教授 小野澤 裕也	生理学
	食品生命科学科	准教授 西脇 洋一	数理・データサイエンス
	食品生命科学科	講師 小手森 綾香	食のデータサイエンス
	環境科学科	教授 村山 史世	地域環境政策
	環境科学科	助教 新田 梢	フィールド科学
4	臨床検査技術学科	教授 石崎 直人	微生物学
	臨床検査技術学科	講師 小山 雄一	病理学
	食品生命科学科	教授 大田 ゆかり	食品微生物学
	食品生命科学科	講師 山本 純平	食品栄養学
	環境科学科	教授 関本 征史	環境衛生学
	環境科学科	助教 坂西 梓里	フィールド科学

※令和7年4月1日現在

令和7年度 麻布大学行事予定

学年始め及び前期始め	4月 1日(火)	学園創立記念日	9月10日(水)
在学者健康診断	4月 2日(水)～4日(金)	前期終わり	9月15日(月)
在学者・編入学者ガイダンス	4月 4日(金)	後期始め	9月16日(火)
入学式	4月 6日(日)	前期成績発表日	9月24日(水)
入学者オリエンテーション	4月 6日(日)～8日(火)	後期授業開始日	9月29日(月)
大学院入学者オリエンテーション	4月 7日(月)	休日における授業実施日	10月13日(月)、11月3日(月)、11月24日(月)
大学院在学者ガイダンス	4月 7日(月)	大学祭	10月25日(土)～26日(日)
入学者健康診断 (大学院入学者を含む。)	4月 7日(月)	後期授業一時終了日	12月26日(金)
前期授業開始日	4月 9日(水)	冬期休業期間	12月27日(土)～1月12日(月)
休日の授業実施に伴う休業日	4月30日(水)、5月1日(木)～2日(金)	後期授業再開日	1月13日(火)
休日における授業実施日	4月29日(火)、7月21日(月)	後期補講日	1月20日(火)
前期補講日	7月23日(水)	後期定期試験期間	1月21日(水)～23日(金)、 26日(月)～27日(火)
前期定期試験期間	7月24日(木)～25日(金)、 28日(月)～30日(水)	後期追再試験期間	2月12日(木)～13日(金)、 16日(月)～18日(水)
夏期休業期間	7月31日(木)～9月28日(日)	卒業式・修了式	3月 7日(土)
前期追再試験期間	8月19日(火)～22日(金)、 25日(月)	春期休業期間	3月25日(水)～31日(火)
休日の授業実施に伴う休業日	9月 8日(月)、9月22日(月)	後期終わり及び学年終わり	3月31日(火)

※学科・学年により日程が異なる場合があります。  
※上記の日程等は変更になる場合があります。

# 令和7(2025)年度 麻布大学父母会行事予定(案)

## 1. 理事会・代議員会・定期総会

予定日	事項	内容
5月10日(土)	5月理事会	定期総会開催等について：15時00分～16時30分
6月14日(土)	代議員会	定期総会開催等について：10時30分～11時15分
	定期総会	予算案及び活動方針等の承認 研究室訪問：10時00分～11時30分 セミナー：10時30分～11時15分 (令和6(2024)年度は、一般教養セミナーを実施)
		総会：11時30分～12時30分 教員と父母との懇親会：12時30分～14時30分
12月13日(土)	12月理事会	令和7年度中間報告及び令和8年度活動計画案等 ：15時00分～16時30分

## 2. 地区懇談会(2会場)

予定日	対象地区	開催地	会場名
8月30日(土)	北海道・東北・関東地区 (※東京・神奈川を除く。)	宇都宮市	宇都宮会場 (ホテルマイステイズ宇都宮)
9月7日(日)	中部・近畿・中国・四国・九州地区	名古屋市	名古屋会場 (名鉄グランドホテル)

個人面談(クラス担任等と1人15～20分程度)	：9時30分～11時30分
セミナー(令和6(2024)年度は、キャリア・就職セミナーを実施)	：10時00分～11時00分
全体懇談会(大学関係者等あいさつ)	：11時30分～12時30分
懇親会(クラス担任紹介含む)	：12時30分～14時30分

## 3. 教員との個別面談

予定日	内容	開催地	対象
10月25日(土)	関東地区(東京・神奈川のみ対象)	麻布大学	全学科の1・2年生の 御父母を対象

### ●住所等の変更について

御父母の住所、電話番号等に変更がありましたらお手数ですが、学生支援課窓口にある「変更届」を御子女より提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### ●弔慰・見舞について

学生又は御父母に御不幸があった場合、弔慰又は見舞金をお支払いできる場合がありますので、学生支援課まで連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### ●編集後記

父母会会員の皆様方におかれましては、御健勝でお過ごしのことと御推察申し上げます。さて、父母会会報第72号の発刊に当たりましては、卒業アルバム委員会委員長 松下 周平さん(V19124)、獣医学科謝恩会実行委員会委員長 篠崎 来希さん(V19065)、動物応用科学科謝恩会実行委員会委員長 須藤 裕弓さん(A21103)、臨床検査技術学科謝恩会実行委員会委員長 沼田 璃輝さん(M21098)、食品生命科学科謝恩会実行委員会委員長 山吉 勲宙さん(F21030)、環境科学科謝恩会実行委員会委員長 河村 隆徳さん(E21025)から御執筆いただきました。御協力誠にありがとうございました。また、学生表彰受賞者の皆さま、おめでとうございます。今後の御活躍を期待しております。これからも、この会報が父母会の情報誌として、会員の皆様方に提供できるよう編集を心がけていきたいと思っておりますので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。